

学  
校  
名

氏

名

太  
陽

【ねらい】

- 文字の組み立て方に気をつけて書く。
- それぞれの文字の組み立て方を理解させ、用紙に合った文字の大きさに気をつけて書く。

【指導のポイント】

「太」の指導ポイント

※左右の「はらい」を大きくのびのびと広げ、文字全体で安定した「三角形」を作ることを意識させます。

一画目（横画）： 左斜め上から45度の角度でトンと筆を入れやや右上がりに引き、最後はしっかり筆を止めます。

二画目（左はらい）： 中心線の少し右側から書き始めます。一画目と交差した後は、左下に向かって筆圧を徐々に抜きながら、スーッと伸びやかにはらいます。

三画目（右はらい）： 一画目と二画目が交差した所の少し下からスタートします。右下へ向かって、徐々に筆を紙に押し付けるようにして線を太くしていきます。一番太くなったところで一度筆の動きをピタッと止め、そこから右横へ向かってゆっくりと筆の先をまとめるようにはらいます。お手本の下にある補助線が示すように、二画目の左はらいと、三画目の右はらいの「一番低い位置」がだいたい同じ高さで揃うようにすると、文字が傾かず美しく見えます。

四画目（点）： 二画目と三画目の間、交差点の少し下に筆を下ろします。ポツンと置くのではなく、斜めにしっかり打ち込んで、力強く止めます。

「陽」の指導ポイント

※左側の「こざとへん（冫）」に対して、右側の「つくり（易）」を少し大きめに書くことで、全体のバランスが整います。

【こざとへん（冫）】課題にある「1, 2, 3」の番号に沿って、筆のつながりを意識します。

一画目・二画目（横折れから曲がり）： 「1」の位置から右上がりに短く進み、斜め左下へキュッと折れます。そのまま「2」の部分で小さく丸みを持たせて右下へ膨らみ、最後は左下へ向かって短くスッとはらいます。

三画目（縦画）： 「3」の位置（膨らみの少し左側）から、まっすぐ下に向かって筆を引き下ろし、最後はしっかりと止めます。

【つくり（易）】四～七画目（日）： 「こざとへん」より少し高い位置から書き始めます。縦画はまっすぐに下ろし中にある横画の隙間（白い空間）がすべて同じ広さになるように意識して書きます。

八画目（横画）： 「日」のすぐ下に、この文字で一番長くなる横画を引きます。左から右へ、やや右上がりにのびのびと筆を進め、最後はしっかり止めます。

九画目（横折れから右下へのカーブ、はね）： 八画目の中心付近から短く右へ進んでから斜め左下へ向かい、そこから大きく右下へカーブします。文字の中で一番下まで来たら、左上に向かって力強くはねます。

十画目・十一画目（左はらい）： 九画目で作ったカーブの内側の空間に、二本の短い左はらいを書きます。十画目よりも、十一画目（一番最後の画）を少し長めにはらうと、空間が美しく埋まります。

